2024年度　　入学試験問題　　（２月１日午前）

第一回

社　会

1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。

2 開始の合図があったら，最初に問題用紙７ページ，解答用紙１枚を確認してください。

3 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。

4 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは声を出さずに手をあげてください。

5 文字は正確にていねいに書いてください。

6 問題用紙は回収しません。

7 筆記用具の貸し借りはしないでください。

8 試験時間は理科・社会あわせて60分です。終了５分前になったら知らせます。どちらから先に解答してもかまいません。

9 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

1　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

1185年、平氏が壇ノ浦の戦いで滅亡したあと、源頼朝は朝廷の官職に任じられた弟の義経と対立しました。頼朝は朝廷に強くせまり、逃走した義経をとらえるという口実で、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに（　あ　）を置くことを認めさせ、鎌倉に政治の中心となる役所を置いて、本格的な武士の政権を作り上げていきました。これを幕府といいます。頼朝は、義経をかくまったとして①東北地方に強い勢力をもっていた奥州藤原氏を攻め滅ぼし、義経も倒されました。その後頼朝は、1192年に征夷大将軍に任命されました。幕府内では、将軍と御家人は主従関係で結ばれていました。この関係は、将軍が［　　　　　　　　　　　　］代わりに、御家人は将軍に忠誠をちかい、戦いが起こると命がけで将軍や土地を守るというもので、御恩と奉公とよばれます。

ところが頼朝が亡くなると、有力な御家人の争いが増え、多くの御家人が滅んでいきました。その中で勢力をのばしたのが頼朝の妻である北条政子の実家、北条家でした。北条時政は、孫である２代目将軍の頼家から将軍の地位をうばい、その弟の実朝を３代目将軍に立てました。この時、北条時政は将軍の補佐役である（　い　）となって幕府の実権を握り、この職は北条氏一族が代々受け継ぎました。

一方で、京都の朝廷では後鳥羽上皇が権力を取りもどす機会をねらっていました。そのようななか、②３代目将軍の実朝が暗殺される事件が起こると、後鳥羽上皇は幕府が弱体化したと思い、1221年に幕府を倒そうと兵を挙げました。これを（　う　）といいます。しかし後鳥羽上皇の期待に反し、戦いは北条政子の呼びかけで結束を固めた幕府が圧倒的な強さを見せ勝利しました。その後、③後鳥羽上皇は隠岐に流され、上皇に味方した貴族や武士の領地の多くが没収されました。④京都には、六波羅探題という役所が置かれ、上皇などから没収した領地には、戦功のあった御家人が（　あ　）に任命されました。この戦いをきっかけに、幕府の力は西日本にも広がり、朝廷の力を圧倒するようになりました。

（　う　）のあと、幕府の将軍には京都の貴族や皇族が任命されましたが、政治の実権は変わらず北条氏が握っていました。政治は安定した一方、多くの（　あ　）が任命されたことにより各地で土地をめぐる争いが多くなっていました。こうした問題を解決するため、３代目の北条泰時は（　え　）という政治の判断基準を定めました。これは武家にとって初めての法でした。このころ朝廷では律令の流れをくむ法が使われていましたが、幕府の勢力が大きくなると朝廷もしだいに（　え　）を使うようになりました。以後、約100年後に鎌倉幕府が倒されるまで、北条氏の強い支配が続くことになります。

(1)　文中の空欄（らん）（　あ　）～（　え　）にあてはまる言葉を答えなさい。

(2)　下線部①について、この一族について説明した文として正しくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

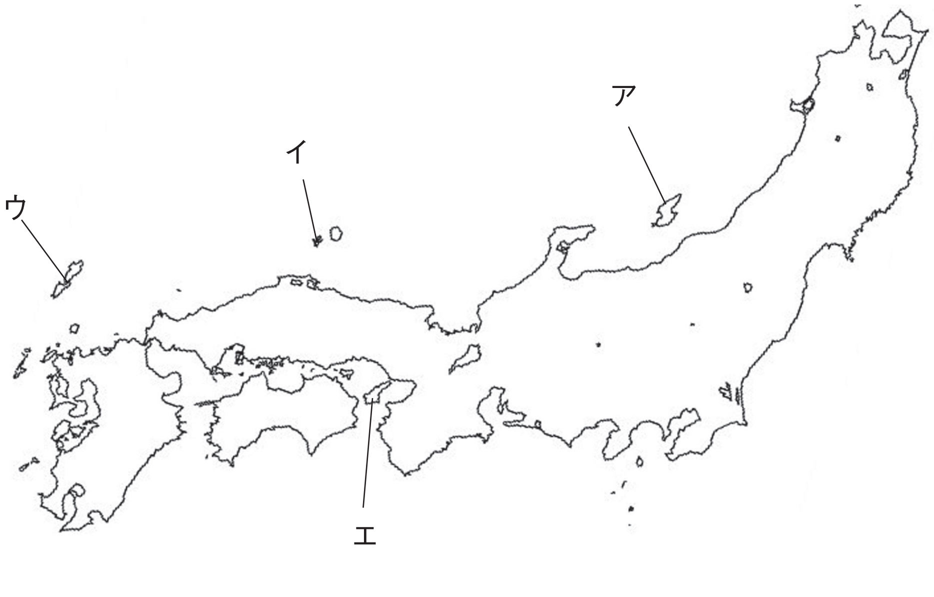
ア　奥州藤原氏は、平安時代に起こった後三年の合戦での内乱に勝利した、藤原清衡（きよひら）から始まった。
イ　奥州藤原氏は、平泉にいくつかの寺院を建てたが、中でも豊富にとれる金を使った中尊寺金色堂は有名である。
ウ　奥州藤原氏が拠（きょ）点にした平泉は、江（え）戸時代に松尾芭蕉（おばしょう）が俳句を詠（よ）んだ場所としても知られる。
エ　奥州藤原氏が拠点にした平泉は、どこの国や地域とも交流をもたず、独自に栄えた地域だった。

(3)　文中の ［　　　　　　　　　　］ には、将軍の「御恩」についての文が入ります。あてはまる文を答えなさい。

(4)　下線部②について、この事件が起こったとされる場所を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　厳島（いつくしま）神社　　イ　鶴岡八幡宮（つるがおかはちまん）　　ウ　太宰府（だざいふ）天満宮　　エ　高徳院

(5)　下線部③について、隠岐の場所を次の地図のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。



(6)　下線部④について、六波羅探題は何のために置かれたのか答えなさい。

2　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

長野県中部の諏訪盆地に位置する諏訪湖は周囲 16kmの長野県最大の湖です。地球内部からの力が働き地層がずれたことでできた湖で、諏訪湖を水源とした（　あ　）が静岡県に向けて流れ出しています。

【写真１　御神渡り】

諏訪湖は冬になると湖面全体が凍り、さらに厳しい寒さが続くと湖面に張った氷に亀裂が入り、氷が山脈のようにせり上がる「御神渡り」という自然現象が起こります。これは諏訪大社の信仰とも結びついていますが、近年は湖面全体が凍ることは少なくなり、2023年も「御神渡り」を見ることができませんでした。最も新しい「御神渡り」は 2018 年です。これは①地球の温暖化が影響しているのではないかと考えられています。また、温泉が一定の間隔で勢いよく噴き出す間欠泉でも知られ観光の目玉にもなっていますが、間欠泉も近年では噴き出すことはなくなってしまいました。これは、人間の活動と関係があるのかどうか、まだ原因はわかっていません。

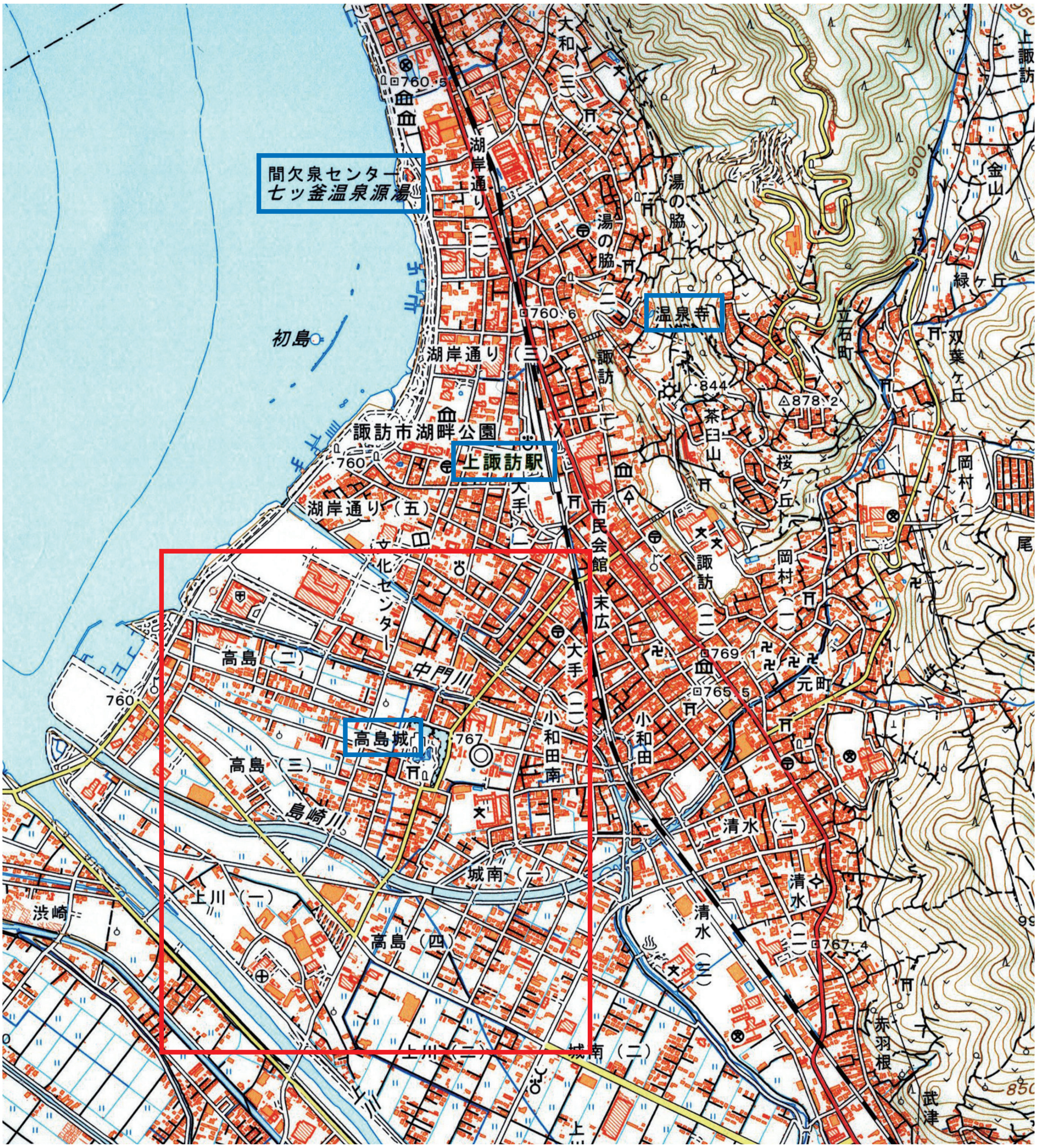
【写真２　諏訪湖】

諏訪湖に面している都市には、諏訪大社や霧ケ峰など文化や自然に恵まれた諏訪市やかつて製糸業が栄え、現在は時計やカメラなどの精密機械工業が発達し「東洋のスイス」と呼ばれていた岡谷市などがあります。製糸業によって生産され、絹織物の原料となる（　い　）は、明治時代から第二次世界大戦前までは日本の経済を担う重要な輸出品でした。しかし、製糸業やその他の繊維工業は、現在の日本では衰えています。②時計やカメラなども生産量は減少し、それにかわり③情報通信技術に関連した最先端の産業が発達してきました。

【写真３　高島城】

では、上諏訪駅から歩いて周辺を散策してみましょう。まずは、上諏訪駅から（　う　）の方向に 15 分ほど歩き歴代藩主が眠る温泉寺に到着しました。駅からは諏訪湖とは反対の方向になりますが、標高 800 mほどの場所にあるため諏訪湖を望むことができます。次に間欠泉が見られる間欠泉センターに向かいます。間欠泉センターには 20 分ほどで到着しました。周辺にある公園や温泉を含めた諏訪市湖畔公園と呼ばれるエリアにあります。間欠泉センターの近くには二つの美術館や警察署がありますが、それらとは反対の方向に向かい高島城を目指して歩きます。高島城まで 25000 分の 1 の地形図上では 6.5cmなので、実際にはおよそ（　え　）mの距離がありそうです。湖畔沿いの道路には

温泉旅館やホテルが立ち並び、このあたりは観光も重要な産業であることがわかります。ほぼ平坦(たん)な道を進み、高島城に到着しました。この場所は河川が運搬してきた土砂が河口付近に堆(たい)積してできた地形で、今でこそ湖の埋(う)め立てが進み湖岸からは離(はな)れていますが、かつては諏訪湖の水が城の際まで迫(せま)り、湖上に浮(う)いているように見えていたと言われています。



【地図１　国土地理院発行　25000 分の１地形図を拡大したもの　諏訪】

(1)　文中（　あ　）にあてはまる河川名を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

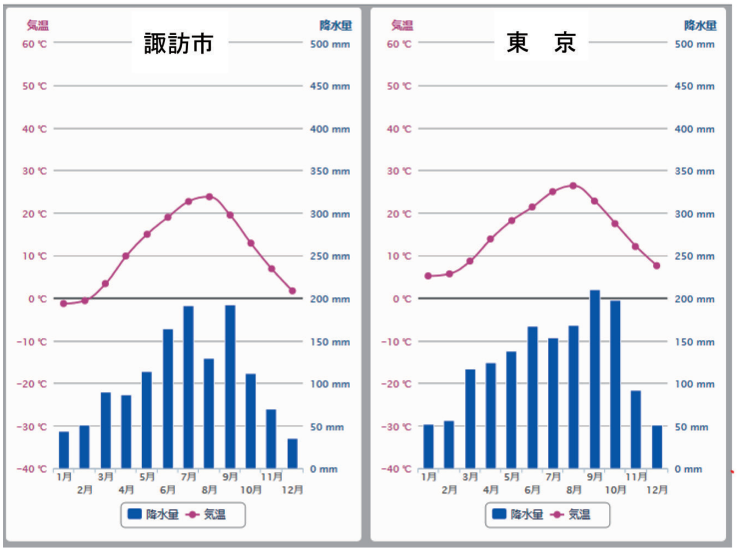
ア　天竜(りゅう)川　　イ　利根川　　ウ　信濃(しなの)川　　エ　筑後(ちくご)川

(2)　文中（　い　）にあてはまる製糸業の原料であり、かつての重要な輸出品であったものを答えなさい。

(3)　下線部①について、地球の温暖化の影響(えいきょう)と考えられるものとして正しくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

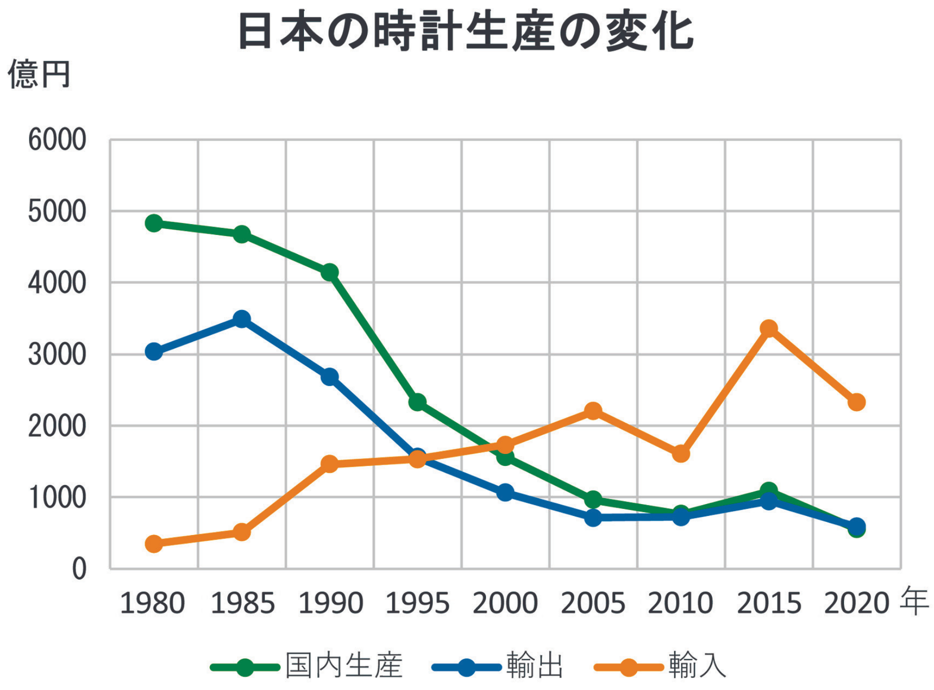
ア　海面の上昇(しょう)が起こり、小さな島国など国土が水没(ぼつ)する危機にある国が存在する。
イ　雨や台風が増え、災害の危険が増えたり、畑や田が流されて食料が足りなくなる。
ウ　海上の氷が解け、ホッキョクグマは住む場所がなくなったり、エサを確保できなくなる。
エ　汚(お)染物質を含(ふく)むPM2.5が日本へも飛来するようになり、健康への被(ひ)害が増えている。

(4)　【図１】は諏訪(すわ)市と東京の月別の気温と降水量を示したグラフです。【図１】を参考にして諏訪盆(ぼん)地(ち)の気候の特徴を答えなさい。



【図１】

(5)　下線部②について、【図２】は日本の時計生産の変化を示したグラフです。生産額や輸出額が減少し、輸入額が増加している理由を答えなさい。



（一社）日本時計協会統計資料より作成

【図２】

(6)　下線部③について、情報通信技術をアルファベット３文字の略称(しょう)で答えなさい。

(7)　文中の（　う　）にあてはまる方位を８方位で答えなさい。

(8)　文中の（　え　）にあてはまる数字を答えなさい。

(9)　地図に示した赤い枠(わく)内にない施(し)設を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

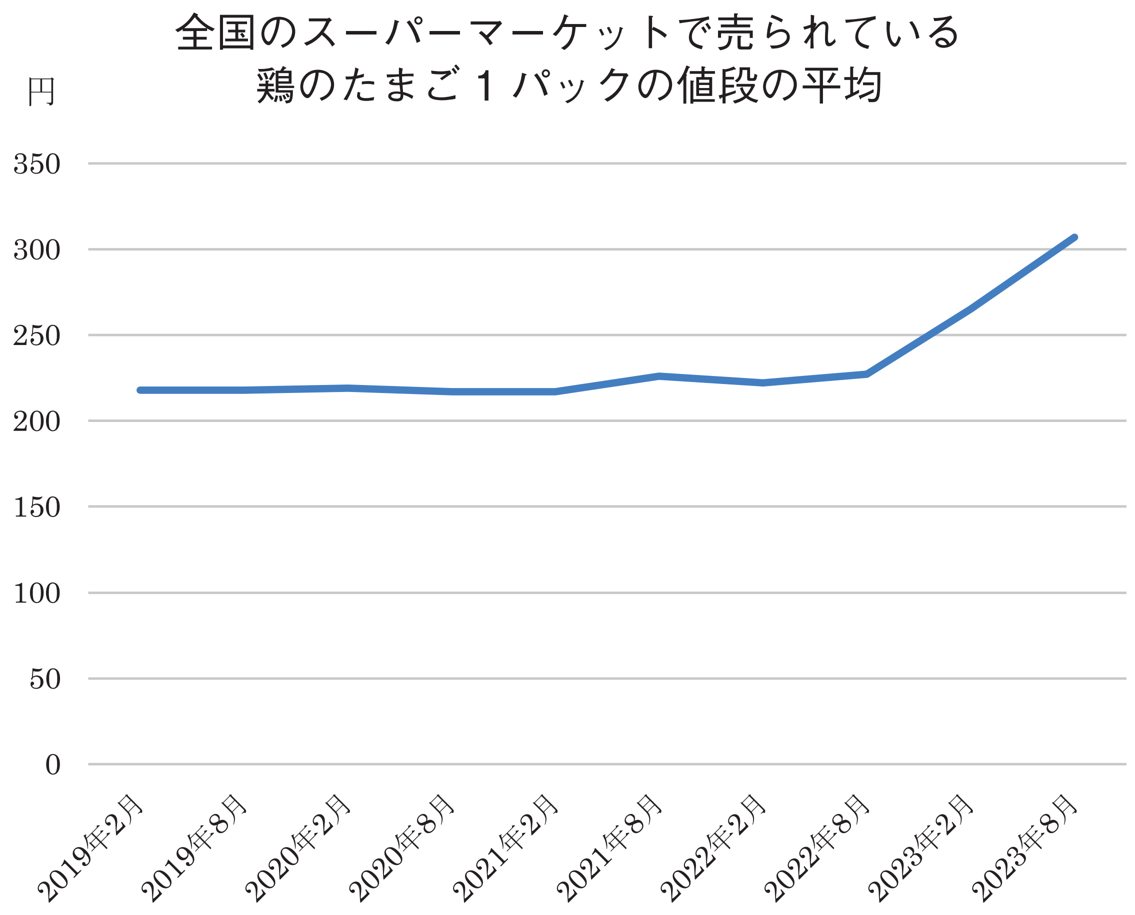
ア　市役所　　イ　病院　　ウ　消防署　　エ　保健所

3　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

最近、買い物をしていると、①「値段が上がった」と思う事がよくあります。商品の価格が上がる、それは言い換えるとお金の価値が下がる事です。これを物価上昇（インフレーション）といいます。

近年の日本ではインフレーションが進んでいるといわれていて、この 30 年間で約 20%の物価上昇がみられます。特に 2023 年に入ると物価上昇が激しく、あまり価格が上昇しないと言われていた鶏（にわとり）のたまごも値上がりしています。

インフレーションは、一般的には景気が良い時にその現象があらわれます。ただ、急激（きゅうげき）な②インフレーションは人々の生活に様々な影響を与えています。



総務省統計局調査より作成

(1)　下線部①について、現在の物価上昇（インフレーション）が進んでいる要因は何だと思いますか。文章で答えなさい。

(2)　下線部②について、景気がよくても、物価上昇で困る人がでてくるのはなぜですか。その理由を答えなさい。

2024年度　社会　解答用紙　**第1回**　（2月1日午前）

受　験　番　号				氏　　　名

得　点
＊

＊印のところは，何も記入しないでください。

1

(1)	あ		い	
	う		え	
(2)				
(3)				
(4)		(5)		
(6)				

小　計
＊

2

(1)		(2)			
(3)					
(4)					
(5)					
(6)		(7)		(8)	
(9)					

小　計
＊

3

(1)	
(2)	

小　計
＊